

# NASUSHIOBARA Newsletter

広報なすしおばら

2 / 5

February 2019 No.339

特集

ア	ー	ト		
		×		
ま	ち	づ	く	り

**特集** テーマは「アート×まちづくり」。昨年3月に策定された「アートを活かしたまちづくり戦略」に基づき、「ART369プロジェクト」がスタートします。黒磯駅前～青木～板室温泉までをアートでつなごうとする本プロジェクト。始動に先立ち、アートが持つ可能性を考えていきます。

市では目の不自由な人のために音訳版広報を発行しています。詳しくはシティプロモーション課までご連絡ください。



創作に集中するミナさん。さまざまな色を上手に組み合わせ、鮮やかな作品に仕上げている。



アート展最終日の11月24日に行われたパペレッタ・カンパニー那須による人形劇。多くの家族連れで賑わった。

※アウトサイダーアート  
伝統的な芸術の教育を受けていない人が創作したアート。障害者アートなども含まれる。



右から清野隆さん・ミナさん・邦子さん。ミナさんが描く緻密でカラフルな絵は、いつまで見ていても飽きない。

うに話してくれた。展示だけでなく、絵画教室や歌声広場も非常に好評で、歌声広場は毎回70人もの高齢者が集う大盛況ぶりだという。

**障害者アートの魅力を広める**

10年以上前に那須のホテルで開かれた海外作家のアウトサイダーアート展。障害者が創作した美しいアート作品が展示されていた。それを見ながらも頭に浮かんでいたのは、生まれつき障害を抱え、絵に没頭する娘ミナさんの姿。地域に根差した障害者アート展ができないか。漠然とした思いが彼の中に生まれた。

この地域で創作に励む障害者を探すため、彼が訪れたのは障害者支援施設「マ・メゾン 光星」。「そこで見た色彩豊かで自由な発想の絵に、心が奪われました」と当時を振り返り、「この絵を地域の人にも広めなければいけない」と思いをさらに強くしたのだという。

「多くの人に作品として見てほしいので、暮らしの身近な場所に、きちんと額装して展示したい」。そのためには、展示してくれる場所と額装する費用が必要だった。そこで、地域の企業から協賛金を募り、カフェやホテルなどに展示の協力を呼び掛けた。色んな人たちの支えを

受けながら、今から10年前の11月に「つながるひろがるアート展Nasu」が産声をあげた。

**多様性を受け入れるきっかけに**

「毎年楽しみにしているよ」。昨年で10回目を迎え、恒例となったアート展では、そんな声をかけられるようになった。当初は障害者に対する差別的な意見を聞いて胸を痛めたこともあったが、最近はそのような作品と触れ合うことで、彼らを受け入れる素地ができたのかな」と話す彼の顔に自然と笑みがこぼれた。

障害を抱えて生きる困難さを、身近で感じてきた清野さん。「多くの人々が色々なアートに触れ、世の中には多様な人や多様な価値観があると感じてほしい」。彼が目指すのは、差別されがちな障害者などが尊重され、多様性が認められる人に優しい社会だ。障害者と健常者を隔てる壁がないアートの世界。「我々が大人になるにつれて失った大切な何かを、彼らは持ち続けている。だから、その絵は人を明るく元気にしてくれる」と魅力を熱く語る清野さん。「作品に触れる機会をもっと増やしたい」と今後の抱負を語り、「多くの人に見てほしい」と期待を込める彼の目はとても輝いていた。

# 障害者 × アート

昨年11月に節目となる第10回目の開催を迎えた「つながるひろがるアート展Nasu」。那須地域に住む障害のある作家約35人が市内外のカフェなど14施設に作品を展示した。本アート展の実行委員であり、ギャラリーバーンの代表である清野隆さんに障害者アートの魅力と今後の展望を聞いた。



ミナさんの創作の様子を話してくれた清野 邦子 さん

## ミナにとって、アートはかけがえのないもの

ミナは、子どもの頃から絵を描くのが大好きで、現在の作風になったのは高校生くらいです。没頭すると、一人で黙々とペンを走らせ、何時間も経っていることもあります。その間は周りで誰かが付き添っていても問題はありませぬ。

独立心が強いのも、そうやって一人で過ごす時間があるから。本当にアートに出会ってよかったです。



〈ギャラリーバーン〉  
那須塩原市小結88-197  
☎0287-64-2288 火曜定休(祝日営業)

「この地域にも作品を展示できる場所が欲しかった」と15年前にオープンしたきっかけを振り返ったのは、自らも絵画や立体造形の創作に励む傍ら、ギャラリーの代表を務める清野隆さんだ。開設前は宇都宮や小山までわざわざ足を運んで作品を展示するなど、多くの苦労があったという。「みんな同じ悩みを抱えていたようで、今では地域のたくさんの方が展示してくれる」と嬉しそ

## この地域にもギャラリーを

ギャラリーバーン  
せいの  
清野 隆 さん





〈MODO工房〉  
那須塩原市青木27-2472  
☎090-3313-7023



### 群像(森) 2017 合板

最近10年くらいは、自然について思いを巡らせているという粕谷氏。“木が倒され、山が削られた場所に置かれるソーラーパネル。自然が姿を消していく気がして寂しい”。そんな思いが「森」をモチーフにした作品に繋がっている。



「創る側も自由なら、見る側も自由。いろんな捉え方、楽しみ方があっていい。自分と向き合うきっかけに」

「国語にも算数にも正解はある。でも、美術には正解がない」。正解がなければ、不正解もないのがアートの世界。「だから、アートは自由で楽しいのです」と粕谷さんは続けました。完成した作品の良し悪しを考えるよりも、その過程を楽しんでほしいとの想いから、子どもたちへの指示はほとんどしないという。「心の声を聞き、素直にそれに従えば良い」との言葉からは、多くを教えず、そのため、彼のワークショップで与えられるのはテーマと少しの注意事項だけ。子どもたちはいやが応にも、自分で考えて、自らの作品と向き合わなければならぬ。「とにかく自由だと気づいてほしい。いかに発想を膨らませ、心を開くかが大切」と話し、「そのきっかけを与えることが僕の役割」と続けた。一番良くないのは、人のまねをしたり、見栄えが良いものを作ろうとする。と。「大学生くらいになると、そういう気持ちが出てくるんだよね」ととてもにこやかに話した。

### アートは自由で楽しいもの

「創る側も自由なら、見る側も自由。いろんな捉え方、楽しみ方があっていい。自分と向き合うきっかけに」

「国語にも算数にも正解はある。でも、美術には正解がない」。正解がなければ、不正解もないのがアートの世界。「だから、アートは自由で楽しいのです」と粕谷さんは続けました。完成した作品の良し悪しを考えるよりも、その過程を楽しんでほしいとの想いから、子どもたちへの指示はほとんどしないという。「心の声を聞き、素直にそれに従えば良い」との言葉からは、多くを教えず、そのため、彼のワークショップで与えられるのはテーマと少しの注意事項だけ。子どもたちはいやが応にも、自分で考えて、自らの作品と向き合わなければならぬ。「とにかく自由だと気づいてほしい。いかに発想を膨らませ、心を開くかが大切」と話し、「そのきっかけを与えることが僕の役割」と続けた。一番良くないのは、人のまねをしたり、見栄えが良いものを作ろうとする。と。「大学生くらいになると、そういう気持ちが出てくるんだよね」ととてもにこやかに話した。

### エピソード

雑木林の中の手作りのアトリエ。そこには、ブランコや鉄棒などの遊び場も併設されている。「いつでもおいで。ここは自由な場所だから」。粕谷さんはワークショップの最後にそう言葉をかけていた。50年以上にわたり没頭してきた創作活動を「生き様」と語った彼。木々に囲まれた静かなアトリエで、今も心の声を聴きながら、創作活動に励んでいるに違いない。

## 02 教育 × アート

青木地区の雑木林にある「MODO工房」。創作活動の傍ら、大学で教鞭を執ってきた粕谷圭司さんのアトリエだ。長年にわたるボランティアなどの活動とアートに対する想いを紹介する。



### 創作の傍ら子どもにアートを

「ダメにならないように、水面までサラサラと石膏を加えるんだよ。雑木林の中にひっそりと佇む一軒のアトリエで行われた、子どもたちのワークショップ。教えているのは、35年間の長きにわたり大学で教鞭を執ってきた彫刻家の粕谷圭司さんだ。創作活動に没頭できる環境を求め、手つかずの雑木林が気に入る青木地区に土地を購入。森を切り拓くところから、家を建てるまでの全てを自らの手でやった。大学での講義と自らの創作活動の傍ら、10年以上ボランティアで小学校の授業で先生を務めてきた。専門とする彫刻を短時間で教えるのは難しいため、取り入れたのが「風船たまご」という石膏を使っている作品作り。「出来上がった瞬間の子どもの表情が良いんだよ」と、このワークショップの醍醐味を教えてくれた。

MODO工房  
かすや けいじ  
粕谷 圭司 さん



ワークショップ序盤は緊張した様子の子どもたちも、完成した作品を手にするとうれしい表情に。「どんなものができるかわからず、ドキドキして楽しかった」とワークショップを振り返ってくれた。完全に丸い卵型に仕上げるのは難しかったようで、「家に帰って、もう一度挑戦したい」と意気込む子もいた。

演劇や音楽などが組み合わせられ、現代の総合芸術と言われる映画。このまちでも、映画を活用して地域を盛り上げようとする取り組みが進められている。その中心を担うまちづくり大使の川岡大次郎さんに話を聞いた。



まちづくり大使(俳優) 川岡 大次郎 さん

大河ドラマ「龍馬伝」、連続テレビ小説「花子とアン」など数々の映画やドラマに出演。2016年にテレビ番組の企画により本市で移住生活を経験。2018年、市内で撮影した短編映画「HELP!!」をプロデュースし、さめき映画祭のグランプリを受賞。



映画を通じた「恩返し」

「シーン〇〇、本番ヨイ……」。忙しなく駆け回っていた撮影スタッフの動きが止まり、現場の緊張感は一気に高まる。昨年12月、市内で行われた映画撮影の一コマ。その中に、ひと際真剣なまなざしを注ぐ男性がいた。俳優業の傍ら、若手俳優の養成スクールも主宰し、本市まちづくり大使も担う川岡大次郎さんだ。

3年前にテレビ番組の企画で、本市への移住体験がきっかけとなり、このまちと関わるようになった川岡さん。「近所の人が野菜をおすそ分けしてくれたり、手料理を振る舞ってくれたり、本当に快く接してくれました。東京ではありえないので、それが嬉しかった」と当時を振り返った。18歳から飛び込んだ映画やテレビの世界。そこで培ってきた経験や人脈。「いつかこのまちにお返ししたい」と川岡さんならではの恩返しをずっと模索していたのだという。

このまちの人の魅力を伝えたい

人口が減少する中、どこの自治体もPRに力を注ぐ昨今。おいしい特産品や豊かな自然など、我がまちを自慢するPR動画はインターネット上に溢れかえっている。話題を得ようと趣向を凝らした動画が、次から次へと生まれては消えている。「映画なら『作品』として必ず残ります。どんなに時代が変わっても、良いものは変わらない」と映画の持つ魅力を語り、「他ではまねできない、作品として価値が高いものを残したい」と本市での映画制作の意気込みを力強く語ってくれた。



↑撮影には多くの市民がエキストラとして参加した。  
↓撮影の合間を縫って、市民との交流を深める川岡さん。



短編映画「HELP!!」は ←から見られます



ほぼ全編を市内で撮影した短編映画「HELP!!」。2018年のさめき映画祭ショートムービーコンペティションで見事グランプリに輝いた。

2年前の9月にまちづくり大使に就任し、その年の冬には早くも本市で映画のプロデュースをスタートさせた。ほぼ全編が市内で撮影された短編映画「HELP!!」は、国内有数の映画祭である「さめき映画祭」で見事グランプリを受賞。「その経験は自信になったし、新しいつながりが増えた」と語る彼は、本市でのプロデュース作品第2弾となる短編映画「HARMONY」を現在制作中だ。

夢は映画祭の開催

「那須塩原で映画祭をやりたい」。3年前から思い描いていた構想は、本市での撮影を重ねるにつれ、少しずつ現実に近い状態にある。映画祭では、若手監督の作品などがあちこちで上映され、多様な映画との新しい出会いがあるだろう。観光客がプログラムを片手に歩き、まちは賑わうに違いない。そんなイメージを膨らませながら、「映画祭で、ハーモニーは主要作品の一つになる」と、自信に満ちた表情で語ってくれた。

今年23日には「ハーモニー」の完成記念上映会が行われる。「ぜひ会場に足を運び、少しでも良いので僕に時間を下さい」と呼びかける川岡さんが会場で皆さんを待っている。

「HARMONY」完成記念上映会 開催



昨年、皆さんの協力を得て撮影した短編映画「HARMONY」。ART369プロジェクトのオープニングセレモニーで上映します。詳しくはP9へ



になった。「気持ちの良い人たちに囲まれて、本当に毎日が楽しい」と満面の笑みで話してくれた。

**まちづくりにもアートを**

「那須塩原は菅木志雄と奈良美智という二人の世界的なアーティストとのご縁がある。それを活かさない



# 04

## アート×まちづくり

アートの世界では言わずと知れた温泉宿「板室温泉大黒屋」。アートが創り出す空間を求めて、世界中からお客さんが集まる。老舗旅館に変革をもたらした16代目社長の室井俊二さんに話を聞いた。

手はない」。全国各地で多様な町おこしが模索される中、独自性の高いアート資源を活用し、ここでしかできないまちづくりを力強く訴える室井さん。本市が策定した「アートを活かしたまちづくり戦略」について、「文化的な視点と明確なビジョンを持つて事業展開する必要がある」と語り、「いかに美意識をもって実践できるか」と今後を期待を込めた。

「河川敷の一本の幼木。自然の恵みを受け、樹は広く枝を伸ばし、強く根を張る。いつかその根は石をつかみ、どんな激流にも負けず、やがて川の流れをも変えるだろう」。まちづくりについて尋ねると、そんな示唆に富んだ答えが返ってきた。昔から哲学書を愛読し、板室の自然に身を置いてきた室井さんらしい言葉だ。「社会の流れは外からは変えられない」と確信する彼は、「まちを変えらるには、その中に入らなければ」と話し、自らもまちづくりに力を注ぐ決意を比喻を用いて話してくれた。

己の内面の美意識に働きかけ、人を癒やし、鼓舞する力を持つアート。「価値あるアート作品を地域に広め、点から線、そして面へと展開するお手伝いがしたい」。そう今後の抱負を話し、「このまちにも美意識で共感する輪が広まってくれれば」と締めくくり、少し先の将来を見つめた。

## ART369プロジェクト 始動

黒磯駅周辺から板室温泉までの板室街道沿いを「ART369」として、アートで地域を盛り上げる「ART369プロジェクト」。板室街道が主に県道369号であること、本市の特産品・ミルクから名づけられました。▶問い合わせ 企画政策課 0287(62)7106

### 01 ART369プロジェクト オープニングセレモニー

プロジェクトのスタートを飾るセレモニーを開催。展示会の企画解説や映画の完成記念上映会を行います。

▶とき 2月23日(土) 午後1時30分開会

▶ところ いきいきふれあいセンター

▶申し込み 企画政策課 0287(62)7106

### アート369 フェスティバル

2019年 3月16日(土)~24日(日)

### 02 旧青木家那須別邸にて~ ART369×もうひとつの美術館

旧青木家那須別邸にて、ART369×もうひとつの美術館。那珂川町にある、アウトサイダーアートをテーマに掲げる日本で最初の美術館「もうひとつの美術館」。本市が誇る文化財・旧青木家那須別邸を舞台にしたアートをお楽しみください。

▶とき 2月26日(火)~3月3日(日) 午前9時~午後4時30分 (最終日は午後3時30分まで)

▶ところ 旧青木家那須別邸

▶入場料 無料(旧青木家那須別邸の観覧料が必要)

テーマは「その先の風景」。黒磯駅周辺の店舗にアーティストの作品を展示します。まだ見ぬ世界、未知のアートとの出会いを探しに行きましょう。

▶とき 3月16日(土)~24日(日) ※開場時間は、各会場の営業時間に準じます。

▶ところ 黒磯駅周辺店舗 (KANEL BREAD / Iris bread & coffee / salon Chiune / Dear, Folks & Flowers / トナリギャラリー [1988 CAFÉ SHOZO] ほか)

▶参加アーティスト 今井麗、金氏徹平、川島小鳥、後藤武浩、惣田紗希、中島佑太

**温泉旅館にアートの息吹を**

板室温泉街の奥に架かる大黒橋を渡ると現代アートに包まれた空間が広がる。創業1551年の老舗の温泉宿「大黒屋」だ。板室の山々と調和するように、庭にもアート作品が並ぶこの宿には、国内外から多くの宿泊客が集まり、リピート率は7割を超えるほどの人気ぶりだ。老舗の温泉旅館が現代アートを取り入れるようになった変革の契機は、今から30年以上前にさかのぼる。

自然がもたらす恵みの温泉につきり、心身を癒してきた人々。料理を振る舞い、寝床を整えて客をもてなしてきた宿。はるか昔から続いてきた日本の文化・温泉。「その温泉文化と、アートという芸術文化を融合させ、全く新しいことがしたかった」と室井俊二さんは代表を引き継いだ当時から振り返った。その時から「保養とアート」を理念に掲げ、「美意識」を大切に経営が始まった。

長い歴史の中で、茶道や華道などの「道」の精神が深く根付いてきた日本。礼節が重んじられ、わびやさびといった独自の美意識が花を開いた。「論理や理屈ではない、感性の世界。そういった美意識を30年前からずっと追及してきた」と自ら歩んできた道を振り返った。

**アートを根付かせる苦悩と挑戦**

「有名ではなかったが、間違いなく天才だと感じた」。室井さんがそう評し、ずっと支え続けてきた作家・菅木志雄氏。「保養とアート」の理念のもと菅氏の作品を取り入れはじめた当初、周囲から理解を得られず、なじみの取引先や従業員が離れるなどの苦悩もあったという。作品の価値を理解してくれず、お客さんから「社長の趣味でしょ」と言われ、残念な思いをしたこともあった。

そんなときも、自らが掲げた理念を信じ、屈することがなかった室井さん。「必ず世界的な作家になると信じていた」と語る彼の後ろには、今や世界の名だたる美術館で個展が開催されるようになった菅氏の作品が掛けられていた。

次第に美意識が高く、アートのある空間に価値を感じてくれるお客さんが来てくれるようになり、従業員も彼の理念に沿った人が集まるよう



板室温泉 大黒屋 室井俊二さん

# 皆さんから寄せられた意見を参考に 新庁舎建設をさらに進めます

新庁舎建設基本計画(素案)に対する意見を求めるため、パブリックコメント(市民意見募集)と自治会長説明会を実施。今回は皆さんから寄せられた意見と市の考え方を紹介します。詳細は市ホームページをご覧ください。

問い合わせ 企画政策課  
02087(2)9254

## 新庁舎周辺の交通安全対策をしてほしい。

新庁舎建設後は、周辺地域で交通量の増加が予想されるため、安全性を確保できるような設計の段階で精査していきたいと考えています。

具体的な敷地内の配置・動線などの素案が作成できた段階で、近隣住民の皆さんを含めた、市民の皆さんの意見をお聞きする機会を設けていきます。



来庁者が迷わないよう、1階には、なるべく多くの窓口業務を集約したいと考えています。中間階には教育委員会や建設部、最上階には議会を配置する予定です。



来庁した市民が目的の窓口に行きやすくなるよう、ワンフロアに集約してほしい。

喫茶コーナーや談話スペースなどを設け、人が集まり、くつろげるようなスペースにしていきたいです。また、土日や夜間の利用についても、市民の皆さんや建設計画地周辺の住民の皆さんの意見を聞きながら検討を進めていきます。



市民交流スペースは、人が集える雰囲気にしてほしい。

はパブリックコメント、は12月に公民館などで行った自治会長説明会の際に寄せられた意見の一部です。

新庁舎の高さは、景観や周辺住宅に配慮し、25メートル以下にしてほしい。

新庁舎の高さや階数は、市民の皆さんや建設計画地周辺の住民の皆さんの意見を聞きながら検討を進めていきます。

新庁舎の高さを25メートルとした場合には、おおむね5階程度の建物になると考えられます。

## 既存の庁舎と違う部分は？

市役所内の組織が変更になった場合でも、基本的には机などのレイアウトを変えることなく、「人」「書類」を移動することで対応が可能なユニバーサルレイアウトを採用予定です。

## 職員駐車場はどのように考えていますか？

新庁舎の敷地内には、職員駐車場を計画していないため、市が所有する市民活動センターの敷地(駐車台数…おおむね450台)を想定しています。

新庁舎に勤務する全職員分をまかなうことはできませんが、7割程度は確保できる予定です。

新庁舎は那須塩原駅前に建設するため、職員の公共交通利用を促進していきたいと考えています。



華美になりすぎないようにしなければいけないと考える一方で、市のシンボルとなるようなものを建ててほしいという意見もあります。

今後検討を重ねながら、市民が集い、市民に親しまれる新庁舎にしていきたいと考えています。

## 新庁舎は豪華に作り過ぎないほうがよい。

親しみをもてるよう新庁舎には、地元産の木材を使ってほしい。



現時点では市民交流スペースを中心に地元産木材の活用を検討しています。その他の箇所も、市民の皆さんに親しみを持ってもらえる庁舎を建設していきたいと考えています。

## 必ずしも免震構造を採用する必要はないのでは？

新庁舎は防災の拠点となる施設です。災害発生後、速やかに災害対策や業務継続ができるよう免震構造が必要であると考えています。

建物の形状は、来年度以降に検討していきますが、今後、設計の段階ではコストの削減を考慮しながら検討を進めていきます。



## コンビニやATMは設置されますか？

市民や来庁者の利便性を高めるため、売店やATMを設置したいと考えています。



## 子どもや高齢者、障害者など、誰もが使いやすいトイレにしてほしい。

誰もが安心して来庁できるよう、多目的トイレを設置したいと考えています。

また、トイレの設置箇所や個室の数など詳細な部分についても、設計の段階で市民の皆さんの意見を聞きながら進めていきます。



## 職員の休憩場所などは検討していますか？

正午から午後1時の間は、省エネを意識し、一部の照明を消しているため、この時間帯に来庁された市民の皆さんからは、市役所が暗いという意見が寄せられています。また、自席で食事をとるため、食べ物のおいがするという意見もお聞きしています。

そのため、新庁舎には休憩室の設置を検討しています。また、ユニバーサルレイアウトを採用することで、バックヤードに来庁者から見えないエリアを作り、食事をとれるようにしたいと考えています。

## 新庁舎建設予定地での地質調査を行いました

建設計画地の地質調査(ボーリング調査など)を平成30年11月20日~平成31年1月7日にかけて実施しました。

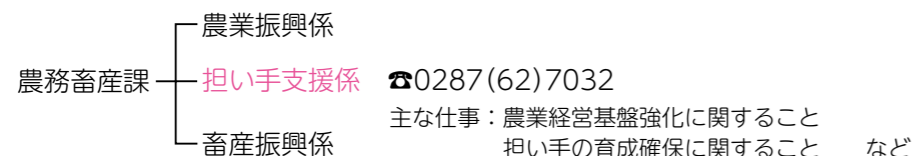
現在、詳細な分析を行っていますが、ボーリング調査の速報値では、地表面をローム層が覆い、さらに深い部分に玉石混じり砂れきからなる層が分布し、安定した地盤であることが分かりました。調査期間中はお理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。

## 4 「いなむら保育園」を民営化

民間活力の導入による保育環境の充実を図るため、「いなむら保育園」を民間事業者に移管し、建て替え、移転(住所: 若草町117-1122)します。

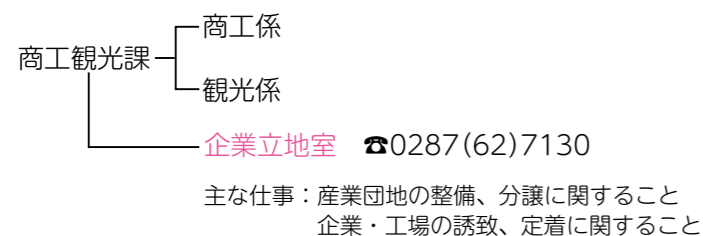
## 5 農務畜産課に「担い手支援係」を設置

新規就農者の確保など、新たな農業の担い手の育成、支援という喫緊の課題に対応するため、農務畜産課に「担い手支援係」を設置します。



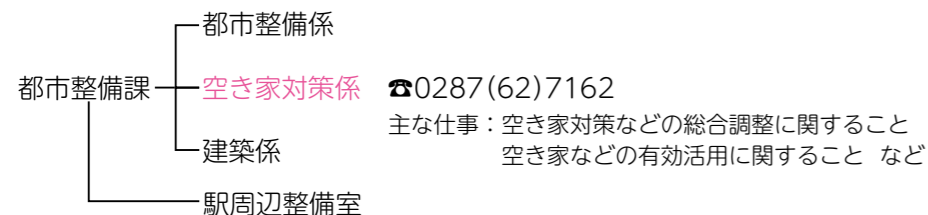
## 6 商工観光課に「企業立地室」を設置

那須高林産業団地の整備、分譲による市内への企業立地を推進するため、商工観光課の「雇用推進室」を廃止し、「企業立地室」を設置します。



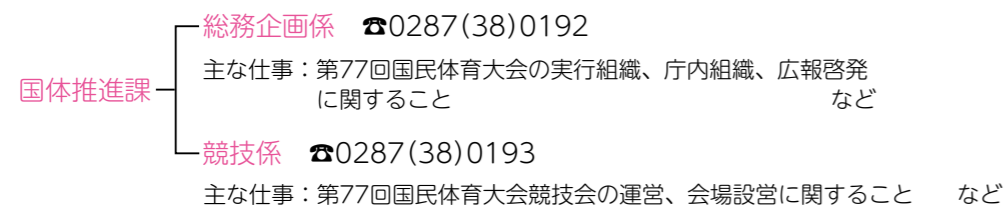
## 7 都市整備課に「空き家対策係」を設置

空き家対策を推進するため、都市整備課の「住宅係」を廃止し、「空き家対策係」を設置します。



## 8 「国体推進課」を設置

2022年に栃木県で開催する第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」に向けた推進体制の強化を図るため、スポーツ振興課の「国体準備室」を廃止し、教育部に「国体推進課」を設置します。



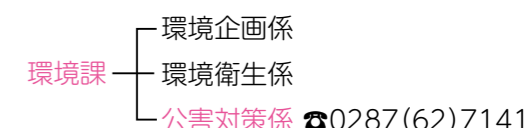
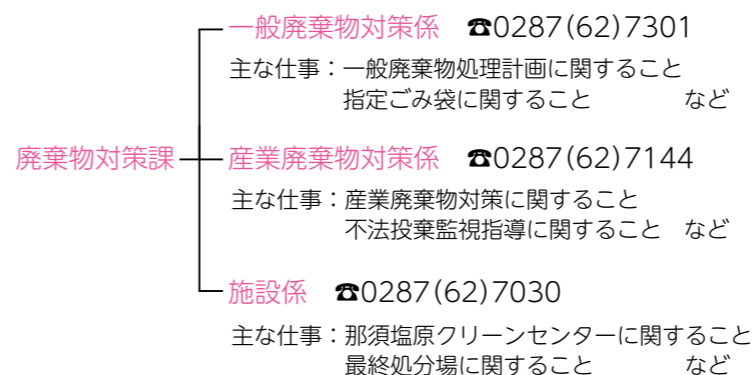
## 4月1日から 市役所組織の一部が変わります

▶問い合わせ ☎企画政策課 ☎0287(62)7106

喫緊の課題への速やかな対応、現行における不具合の改善および重点プロジェクトの推進を図るため、行政組織機構の一部見直しを行います。

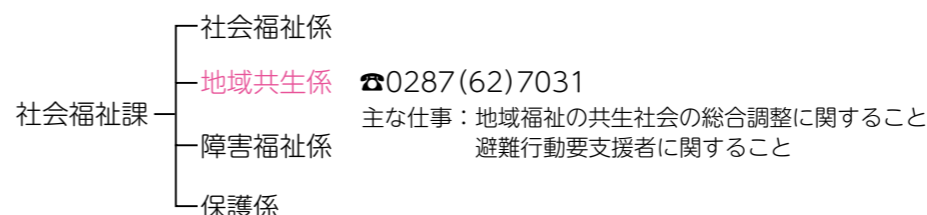
### 1 「廃棄物対策課」と「環境課」に再編

「環境対策課」を廃棄物行政に特化した「廃棄物対策課」に再編し、現在環境対策課の「公害対策係」を環境管理課に移管し、環境管理課を「環境課」へ変更します。



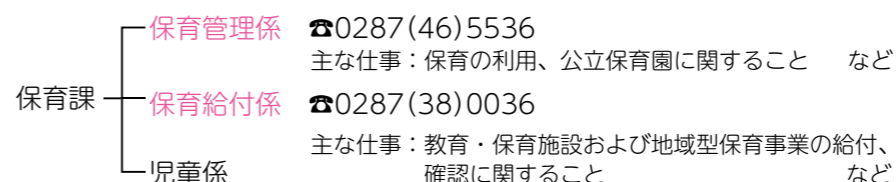
### 2 社会福祉課に「地域共生係」を設置

福祉分野の公的な支援体制を包括的、総合的なものに改めていくとともに、地域の互助力を高め、地域共生社会の構築を目指すため、社会福祉課に「地域共生係」を設置します。



### 3 保育課に「保育管理係」と「保育給付係」を設置

効率的な事務を行うため、保育課の「保育係」を分割し、「保育管理係」と「保育給付係」を設置します。





## 今年も元気にがんばるぞ ～たかはやし保育園 新年のつどい～

たかはやし保育園で1月8日に行われた新年のつどい。子どもたちにお正月を楽しんでもらおうと毎年企画されています。今年は園児85人が参加し、園長先生からミカンのお年玉をもらったり、お手玉で遊んだりしました。そんな中一番の盛り上がりを見せたのが、毎年恒例の獅子舞。獅子が怖くて泣き出してしまう子もいれば、嬉しそうに頭をガブリとされている子も。今年も一年、獅子が子どもたちを見守ってくれていることでしょう。



## 塩原温泉街を包む幻想的な光 ～塩原温泉竹取物語～

冬の塩原温泉街を幻想的な明かりで彩るライトアップイベント、「塩原温泉竹取物語」が今年も始まりました。地元商店街の皆さんが、観光客に楽しんでもらおうと始めた催しで、今回で4回目。今回も色とりどりの手作り竹灯籠が、妙雲寺参道や蓬萊橋、塩原もの語り館や紅の吊橋などに備え付けられました。このイベントは3月末まで続けられ、点灯式が行われた1月19日には、観光客が幻想的な風景を写真に収めていました。



## 新年最初の恒例行事 ～黒磯那須公設地方卸売市場 初競り～

地域の食糧基地である黒磯那須公設地方卸売市場で1月5日、初競りが行われました。競り人が威勢の良い掛け声を響かせると、買参人が野菜などを次々と競り落とし、場内は活気に包まれました。買参人の中には、首都圏で開催されるバザーで販売する野菜を仕入れに、はるばる参加した人も。「この地域の野菜は甘くておいしいので、大人気なんです」。そう評された野菜は早速トラックに積み、会場に向けて運ばれて行きました。



## 新年の無病息災を願って ～狩野地区コミュニティ どんどん焼き～

1月12日、地域内の融和と無病息災祈願のため、狩野地区コミュニティのどんどん焼きが、旧西那須野清掃センター跡地で行われました。震災の影響で自粛したこともあったどんどん焼き。復活して6年目の今年は、高さ14mに組み上げた鳥小屋のほかに、子どもたちが楽しめるよう小鳥小屋も準備して、槻沢小学校全児童が願いを込めた短冊も一緒にお焚き上げ。一気に燃え上がる鳥小屋に、集まった人は歓声を上げていました。

1力強く誓いの言葉が読み上げられた 2再会した級友と会場へ 34文化会館が工中のため、黒磯会場はハーモニーホールで開催。パイプオルガンの音色が響いた 5式典を支える実行委員たち



「家族をはじめ、周囲の人たちへの恩を忘れず、大人としての自覚を持って行動したい」。新成人を代表して、誓いの言葉が力強く読み上げられました。級友と共に過ごした日々を懐かしみ、それぞれの未来に向かって新たなスタートを胸に誓いながら、祝いと誓いの式典が幕を閉じました。

門出を祝うかのように、穏やかに晴れ渡った1月13日。ハーモニーホール・三島ホール・ハロープラザの3会場で、成人式が開催されました。今年、本市で新成人となったのは1193人。各会場には、晴れ着に身を包み、級友との再会を喜ぶ新成人たちの笑顔がありました。



6恩師との再会に盛り上がる会場 7新成人たちの顔には緊張も垣間見えた 8新たな決意を胸に、門出の式典が締めくくられた





## 輝かしい功績を称えて 市長特別賞

スポーツ活動や芸術、科学などの文化活動にて全国規模以上の大会で最高位をおさめ、本市のスポーツ、文化などの振興発展に貢献した人に市長特別賞を贈呈しています。

▶お問い合わせ  
☎秘書課  
☎0287(62)7108

## 環境に優しい温泉旅館を目指して



ONSEN RYOKAN  
山喜  
山口 忠孝 代表

環境省の地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞した、ONSEN RYOKAN山喜に市長特別賞が贈られました。旅館に温泉排湯熱利用ヒートポンプなどを導入し、10年以上も温室効果ガス排出量を削減した功績が認められた今回の受賞。代表の山口さんは、「名誉ある賞をいただきありがたい。環境にやさしい旅館づくりを広めたい」と今後の抱負を教えてくださいました。

## クレー射撃 全日本選手権で優勝



折原 研二 氏

昨年10月に福岡県で開催された全日本選手権大会のスキート種目で優勝を果たした折原研二さんに市長特別賞が贈られました。平成29年の国民体育大会クレー射撃競技会優勝の功績による受賞に続き、二度目の市長特別賞となる折原選手。娘さんも同じ競技の強化選手として活躍中で、「親子で東京オリンピックに出場するのが夢です」と意気込みを語ってくれました。

今月の「お便りBOX」コーナーはお休みします。皆さんから頂いたお便りは3月5日号で紹介いたします。

## Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 表紙         | 2. 特集         |
| 3. 行政 info    | 4. タウンピックアップ  |
| 5. 子育て連絡帳     | 6. チャイルドトピックス |
| 7. 健康だより      | 8. 図書館へ行こう！   |
| 9. お便りBOX     | 10. なすしおばら珍百景 |
| 11. ちっちゃな自然   | 12. 編集後記      |
| 13. げんきびと     | 14. ものづくり若人   |
| 15. 私のまちの近い遺産 |               |

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

募集中

お便りBOX



皆さんの声を紙面で紹介します

皆さんからいただいたお便りを紙面で紹介していきます。広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題などを投稿してください。

※応募ははがきかQRコードから。



なすしおばら **珍**百景

あなたの"珍"がまちの魅力に？

あなたの身の回りの"珍"な光景、出来事、思い出などの写真を募集します。その1枚が新たな魅力の発見につながるかも。

※応募は次ページのQRコードを参照してください。

※いただいたご意見は、内容を変えない範囲で添削させていただく場合があります。  
※紙面の都合上、掲載できない場合がありますのであらかじめご了承ください。

# 図書館へ行こう！

午前9時30分～、平日は午後7時、土・日は午後6時まで開いています。

図書館 HP



NEW!



『かぴばら』

著：岩合光昭 クレヴィス  
おっとりした様子が日本でも人気のカピバラ。大きさはネズミの間では最大。動物写真家・岩合光昭がとらえた、ブラジルのパンタナール大湿原に生きる、野生のカピバラの姿。

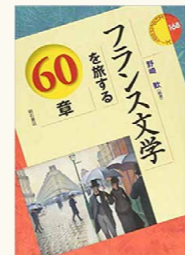
カピバラの意外な能力も



『人とどうぶつの血液型』

編著：近江俊徳 緑書房  
血液型とは何か、動物たちにも血液型があるのかなど、血液型に関する疑問について分かりやすく解説。人の輸血・献血の歴史と現状の紹介のほか、犬と猫の輸血についても詳述。

知っているようで知らない血液型



『フランス文学を旅する60章』

編著：野崎敏 明石書店  
多彩な執筆陣のエッセイや解説によって、12世紀から現代までの「フランス文学」を、旅するように味わえる。各章に読書案内があり、まだ読んでことのない人も楽しめる1冊。

フランスのかおりをあなたに



『でこぼこめりめりなにがでる?』

著：松田奈那子 アリス館  
10円玉の上に紙をのせてクレヨンでこすると、あら不思議。10円玉が浮かび上がってきた！葉っぱや輪ゴムなど、身の周りのもので試してみよう！読み聞かせでも楽しめます。

一緒にでこぼこをめりめりしてみよう！



『ぼくのぼしょなのに』

著：刀根里衣 NHK出版  
パパとママのおなかの下がお気に入りの、ペンギンのククー。ある日突然、その場所に新しいたまごが現れます。ククーはいったいどうするのでしょうか？ペンギン親子のあたたかい物語。

新たな家族を迎える子どもたちへ



『聴導犬くんちゃんくれた勇気』

著：高橋うらら 岩崎書店  
耳の不自由な人に、生活に必要な音を報せる聴導犬。シーズー犬「くんちゃん」の語りで、訓練の様子や仕事の内容、パートナーとの関わりなど、聴導犬への理解が深まります。

「ちょうどうけん」を知っていますか？

イベント情報

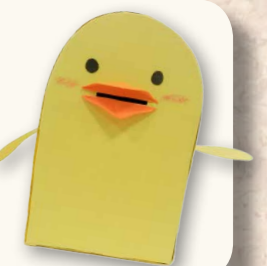
おはなし会と工作会「ぴよぴよちょきんばこ」をつくろう

おはなし会の後に工作会を行います。

はさみを使った作業はないので、小さな子どもでも安心して参加できます。

▶とき 2月16日(土) 午前10時30分～11時30分 ▶ところ 塩原図書館 ▶対象 小学生以下

▶参加費 無料 ▶定員 なし(申し込み不要) ▶問い合わせ 塩原図書館



▶お問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521

ちっちゃな自然  
みつけた



黒磯公園の春  
～2種のイチゲ～



左:アズマイチゲ 右:キクザキイチゲ 撮影日:2018.3.29 撮影場所:黒磯公園

イチゲって?

キンポウゲ科イチリンソウ属の多年草。イチゲとは、イチリンソウの別称で1株に1つの花をつけることからそう呼ばれる。

アズマは、東日本に多いことからついた。学名: *Anemone raddeana* Regel

キクザキは葉がキクに似ていることからついた。学名: *Anemone pseudoaltaica* H.Hara



同日同場所のカタクリ

なすしおばら/  
珍百景

あなたの"珍"を募集中

＜応募方法＞

方法① きらきらホット  
なすしおばらに投稿  
珍百景投稿用フォームに  
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話  
☎ 0287(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。  
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。  
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。  
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。  
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

こんなところで私の夢が  
"シモバシラ"



投稿者 S・Hさん(70代男性 埼玉)  
撮影場所 埼玉(撮影日 H30.12)

枯れた茎に霜柱のような水の結晶ができることから名づけられた“シモバシラ”という植物。何十年も山野草を楽しんでいて、ずっと見たかったその光景を、初めて見ることで嬉しかったです。

寒い冬もまもなく終わり、野山では、フクジュソウやセツブンソウが咲き始めます。  
さて、今回紹介するのは、黒磯公園とそこに生えているアズマイチゲ、キクザキイチゲです。  
黒磯公園は桜の名所ですが、東側の斜面にはさまざまな植物が花を咲かせます。3月末から4月上旬には、カタクリ、ニリンソウ、コクサギ。5月には、イカリソウ、ウワミズザクラ、レイヨウボタン、ユキザサ、ニッコウキスゲなど。6月にはマルバタケブキが咲きます。  
アズマイチゲとキクザキイチゲは、どちらも似たような花を茎の先に一輪咲かせます。春が過ぎると跡形もなくなるスプリングエフェメラル(春の妖精)の一種です。2つの大きな違いは、葉の形です。アズマイチゲの葉は、小葉の先にギザギザがあります。キクザキイチゲの葉はキクに似て、全体に切れ込みがあります。  
また、花もよく見ると違いがあります。写真ではわからないと思いますが、アズマイチゲの雄しべの元の方がやや紫色を帯びています。キクザキイチゲの花は、白色だけでなく青紫色や紅紫色のものも見かけます。特に、佐渡島をはじめとする新潟県など日本海側に多く見られますが、市内でも青紫色の花が咲く場所があります。  
もうすぐ野山には花が咲き始めます。元気に春を迎えましょう。 おさむ

編集後記

今年で4回目となる塩原温泉のライトアップイベント「塩原温泉竹取物語」の取材に行ってきました。このイベントが始まった当時から毎年取材させてもらっていますが、一番初めに実行委員会の会長さんから、イベントを始めたきっかけについてお話を伺ったのが、つい先日のように思われます。今年も温泉街のあちこちに飾り付けられた手作りの竹灯籠をカメラのファインダー越しに見ていると、温泉街の皆さんの「お客様に楽しんでほしい」という想いが年々強くなっていると感じました。(興野)

少し遠い世界だと感じていた「アート」の世界。そもそもアートって何だろう? あまり馴染みがないテーマだったので、誌面を作る前はとても不安でした。それでも、今回インタビューさせて頂いた人の話はとても楽しく、新しい刺激に満ちていて、新鮮なものばかり。皆さんから話を聞いて、アートは日々の暮らしで気軽に楽しめるものだと感じました。これから本市でアート関連のイベントが立て続けに予定されています。皆さんも会場へ足を運んでみてはいかがでしょうか。(平石)

3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが  
62円切手を  
貼ってください

行政情報アプリ「広報紙」が「マチイロ」としてリニューアル!  
マチを好きになるアプリ  
マチイロ  
自治体がもっと身近になる機能が盛りだくさん!

1 役立つ行政情報を見逃さない!  
2 自分に合わせた情報が届く!  
3 いろいろなマチの魅力をお届け!

ダウンロードはこちらから  
App Store からダウンロード  
Google Play でダウンロード  
※「広報紙」をご利用の場合、アップデートによって新アプリに切り替わりますので、新たにダウンロードする必要があります。 ※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。 ※広告が表示されますが、各自治体とは何ら関係ありません。  
マチイロに関する問い合わせは株式会社ホープ(092-716-1404)まで

那須塩原市役所  
シティプロモーション課  
「広報なすしおばら係」行

ご住所   
那須塩原市  
※掲載する場合は実名ではなく、イニシャルまたはペンネームで掲載します。  
フリガナ  ペンネーム   
お名前  (希望者のみ)  
☎電話   
年齢  歳 性別  男・女



三島通庸(左)と三島弥太郎(右)の肖像画 作:長原孝太郎

私のまちの  
**近い**  
世界遺産

**三島親子の肖像画**  
～社会に功績を残した親子～

1月5日号の広報なすしおばらでは、三島通庸<sup>みちつね</sup>について紹介しました。今回は、三島通庸とその長男、三島弥太郎<sup>やたろう</sup>に関する文化財を紹介します。

那須野が原開拓の先駆者である三島通庸。彼が亡くなった後、三島農場の移住人を中心に寄付が集まり、明治39年(1906)に三島神社が創建され、大正2年(1913)には画家の長原孝太郎<sup>ながはらこうたろう</sup>の肖像画が神社に奉納されました。通庸亡き後、三島農場の経営は、長男の三島弥太郎に引き継がれます。通庸の子といえば、現在放送中の大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック」に登場する、日本人初のオリンピック選手の一人である三島弥彦<sup>やひこ</sup>が有名ですが、長男の弥太郎も日本社会に多くの功績を残した有名人です。

弥太郎は、貴族院議員を務めながら、横浜正金銀行の頭取、第8代日本銀行総裁を歴任し、市中銀行の預金金利協定の成立に尽力します。彼が亡くなった3年後の大正11年(1922)には、父の通庸と同様に、長原孝太郎により描かれた肖像画が三島神社に奉納されました。通庸と弥太郎の肖像画は2枚とも現存しており、市の指定有形文化財になっています。(現在は那須野が原博物館に所蔵)

日本社会や那須塩原市に多大な功績を残した三島家。三島地区を訪れる際にはぜひ彼らの思いを感じ取ってみてください。

**お知らせ**

**日本遺産認定記念講演会**  
「明治貴族が描いた未来  
～那須野が原開拓浪漫譚～」

- ▶とき 3月2日(土) 午後1時30分～
- ▶ところ 乃木温泉ホテル(下永田1-993-11)
- ▶内容 基調講演、パネルディスカッション
- ▶定員 200人 ※定員を超えた場合は抽選。
- ▶参加費 無料
- ▶申込方法  
郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、同行者数、同行者氏名を明記し、はがき・FAX・メールで次に申し込む  
◎下野新聞社営業局業務推進部  
「日本遺産 那須野が原」係  
〒320-8686 宇都宮市昭和1-8-11  
FAX 028(625)1132  
✉gyosui@shimotsuke.co.jp

※後日、聴講券が送付(同行者がいる場合は代表者に送付)されます。

- ▶申込期限 2月22日(金) ※当日消印有効。
- ▶問い合わせ 下野新聞社営業局業務推進部  
☎028(625)1104 ※平日の午前9時～午後5時30分。